

沖縄で新しい国際映画祭、11月下旬開催

第一回Cinema at Sea - 沖縄環太平洋国際フィルムフェスティバル 開催のお知らせ



NPO法人Cinema at Sea〈設立準備中〉(代表理事:黄インイク)は、2023年11月下旬から沖縄県・那覇市の会場を中心に、環太平洋地域にフォーカスした新しい国際映画祭「第一回Cinema at Sea - 沖縄環太平洋国際フィルムフェスティバル」を開催します。映画は言葉や文化の枠を超え、人々をつなげる力を持っています。Cinema at Seaは、この力を信じ、優れた映画の発掘と発信を通じて、各国の文化や民族、個々人の相互理解を深め、沖縄が環太平洋地域において新たな国際文化交流の場となることを目指します。

まずメインのプログラムとして、環太平洋の各国・島々で製作された映画作品を対象にコンペティション形式による優秀作品の選考と上映を行います。「環太平洋長編部門(Pacific Film Competition)」と命名しました。

他にも、特定の島国やエリアにフォーカスした作品を集めた特集上映「Pacific Islandショーケース」を行うほか、上映以外の取り組みとして、製作者向けに国際共同制作を促進するプログラムやワークショップなども企画中です。沖縄を拠点に環太平洋地域の映画産業を盛り上げるべく長期的な施策を構想しています。

本映画祭のエグゼクティブディレクターを務めるのは、沖縄在住・台湾出身の黄インイク(こう・いんいく)監督。沖縄に住みながら映画の監督やプロデューサーをしている黄監督は自身が世界中の映画祭に行く経験から「沖縄は国際映画祭をやるのに最適な場所なのではないか」と感じていました。2018年から本映画祭の構想を練り始め、コロナ禍で温めていた構想を形にすべく、今年初めの一歩を踏み出しました。

本映画祭を盛り上げる公式アンバサダーには、国際的に活躍が目覚ましい沖縄出身の俳優・尚玄氏が就任しました。また、本映画祭の運営団体の理事の一人には、沖縄・与那国島出身で監督・俳優として現在注目を浴びる東盛あいか氏が務めます。これらのメンバーが一丸となって、秋の沖縄の新たな文化イベントとなるべく映画祭を盛り上げます。

本日からコンペティション部門のエントリーが開始いたします。詳しい募集要項や応募フォームは公式ホームページをご確認ください。その他の特別招待作品や実施イベントについても、随時発表しますので、こちらも公式ホームページや各種SNSをご確認ください。

晩秋の沖縄で、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

世界に沖縄や環太平洋地区の新たな魅力を届ける

<Cinema at Sea - エグゼクティブディレクター 黄 インイク コメント>



私は2013年からドキュメンタリー映画の製作のために沖縄へ通い始めました。沖縄と出会ったことは、私の人生を変えたターニングポイントだといっても過言ではありません。2016年に沖縄へ移住後は、私の故郷である台湾との文化交流の活発化はもちろんのこと、沖縄を新たな映画製作における国際共同製作の拠点にしたいという夢があり、日々活動しています。

そして、この想いを実現させるべく「環太平洋」という新たな枠組みで、今年より沖縄で新たな国際映画祭を始めることとなりました。

本映画祭は「Cinema at Sea」というテーマのもと、映画祭全体を通じて国や言語を超えて人と人が触れ合い、喜びを共有できるようなイベントにしたいと考えております。国際映画祭という文化・芸術が融合するイベントを通じて、世界中に沖縄をはじめとする環太平洋地区の新たな魅力を届けるだけでなく、沖縄が新たな文化発信基地となるよう、私も全力を尽くして参ります。

日本映画の国際化の一助となれるように

<Cinema at Sea - 公式アンバサダー 尚玄 コメント>



俳優を始めて約20年、これまで様々な海外作品や映画祭に参加させていただきました。今までの経験を活かして、故郷に恩返しできることはないかと模索する中で、国際映画祭の開催は僕の長年の夢でもありました。

琉球王国時代に中継貿易地として栄え、アジアをはじめ周辺諸国と交流していた歴史的背景と文化的多様性、そして観光地として多くの人々を魅了している沖縄は国際映画祭の開催地として理想的ではないかと考えていたからです。

本映画祭が掲げる、沖縄を文化発信基地として環太平洋地域の国々を繋いでいくというコンセプト、映画の上映だけでなく教育や人材育成も視野に入れたプログラムに賛同し、アンバサダーとして参加させていただくこととなりました。

この映画祭が架け橋となり日本映画の国際化の一助となれるように、そして地元の方々や観光客の皆さまにも楽しんでいただける、秋の沖縄の新しい風物詩となるよう僕も精一杯尽力いたします。

私達はこの土地に生きていますと発信ができる

<Cinema at Sea - 理事 東盛あいか コメント>



私は映画館が無い小さな島で育ちました。島の外には何でもあると思い憧れ、故郷の豊かさに気づけませんでした。しかし、映画を通して世界を知り、故郷の島を知ろうとするきっかけが生まれました。そして何より、閉鎖的に感じていた島々の可能性を映画は教えてくれました。

私達は繋がれる。私達はこの土地に生きていますと発信ができる。「Cinema at Sea」は沖縄を中心に環太平洋へと和を広げ、文化交流と発信を実現させる国際映画祭です。そして沖縄の次世代へ繋げるためにも、地元の方々と一緒に盛り上げられる映画祭として続けていきたいです。

▼第一回Cinema at Sea - 沖縄環太平洋国際フィルムフェスティバル 概要

正式名称 第一回Cinema at Sea - 沖縄環太平洋国際フィルムフェスティバル (Cinema at Sea - Okinawa Pan-Pacific International Film Festival 2023)

主催 Cinema at Sea - 沖縄環太平洋国際フィルムフェスティバル事務局

開催期間 2023年11月下旬

開催会場 那覇市ぶんかテンプス館テンプスホール等、那覇市内を中心とした会場で上映

実施内容 公式コンペティション作品上映・特集上映・トークイベント他を実施。

公式サイト <https://www.cinema-at-sea.com/>

【コンペティション部門 作品募集】

2023年7月10日(月)～8月31日(木)日本時間24時まで

※募集要項や応募フォームは公式ホームページをご確認ください

【問い合わせ】

Cinema at Sea - 沖縄環太平洋国際フィルムフェスティバル事務局

mail: staff_cias@cinema-at-sea.com